

事務事業名	学校栄養士会参画事業			担当	教育委員会 学校給食センター 第一・第二学校給食センター		
政策名	B	学びと歴史・文化が豊かな心を育むまちづくり			増補版施策名		
施策名	2	小・中学校の教育の充実			<input type="checkbox"/> 実施計画上の主要事業		
関連個別計画				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ		
法令根拠					<input type="checkbox"/> 単年度繰返（開始年度 昭和40年度～）		
予算科目	1. 一般会計	10. 教育費	5. 保健体育費		<input type="checkbox"/> 期間限定複数年度（ 年度～ 年度）		
事業概要	児童・生徒の栄養改善及び学校給食の振興を図るとともに、学校栄養士の資質の向上を図るため、昭和40年に栃木県学校栄養士会が設立された。令和2年4月1日現在、県内206名の栄養士で組織されており、全国学校栄養士協議会栃木県支部を兼ねているため、栃木県学校栄養士会負担金に合わせ全国学校栄養士協議会負担金を支出、各種研修会に参加し、各種課題等に対し連絡連携を図っている。（真岡市3名）						

1. 現状把握の部 (1) 事務事業の目的と指標

①手段（主な活動） 31年度実績 研修会等への参加 負担金支出事務 2年度計画 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、4月から5月に予定されていた研修会等は中止となった。 6月以降は通常通り開催が予定されている。	⑤活動指標（事務事業の活動量を表す指標）の推移						
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
	ア 負担金額	円	27,000	27,000	27,000	27,000	27,000
	イ 参加した本センター会員数	人	3	3	3	3	3
	ウ エ オ						
②対象（誰、何を対象にしているのか）*人や自然資源等 栃木県学校栄養士会	⑥対象指標（対象の大きさを表す指標）の推移						
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
	ア 栃木県学校栄養士会の会員数	人	255	255	256	256	206
	イ ウ エ オ						
	③意図（この事業によって、対象をどう変えるのか） 学校給食に関する調査研究、情報収集・交換をおこなうことにより、学校栄養士の資質向上を図る。	⑦成果指標（対象における意図された対象の程度）の推移					
名称		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
ア 研修回数		回	5	5	5	5	4
イ ウ エ オ							
④結果（どんな結果(上位施策)に結びつけるのか） 学校給食の充実を図る。		⑧上位成果指標（結果の達成度を表す指標）の推移					
	名称	単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
	ア 体重が標準範囲の児童生徒の割合	%	86.7	86.3	86.8	86.6	86.6
	イ ウ エ オ						

(2) 総事業費の推移		単位	28年度(実績)	29年度(実績)	30年度(実績)	31年度(実績)	2年度(見込)
投入量	事業費	財源内訳	千円	0	0	0	0
		国庫支出金	千円	0	0	0	0
		県支出金	千円	0	0	0	0
		地方債	千円	0	0	0	0
		その他	千円	0	0	0	0
	一般財源	千円	27	27	27	27	
	事業費計(A)	千円	27	27	27	27	
	人件費	正規職員従事人数	人	1	1	1	1
		延べ業務時間	時間	1	1	1	1
		人件費計(B)	千円	4	4	4	4
トータルコスト(A)+(B)		千円	31	31	31	31	

(3) 事務事業の環境変化・市民意見等	
①この事務事業を開始したきっかけは何か？ いつごろどんな経緯で開始されたのか？	学校栄養士の資質向上を図るため、本会の各種研修会へ参加させる目的で参画した。
②事務事業を取り巻く状況（対象者や根拠法令等）はどう変化しているか、開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか？	食育に対する重要性の高まりとともに、栄養士の資質の向上が求められている。
③この事務事業に対して関係者（住民、議会、事業対象者、利害関係者等）からどんな意見や要望が寄せられているか？	